令和8年度　上田市立　塩田中学校　学校評価シート【中間】

学校教育目標	めざす子どもの姿（中期的目標）
1 充実した学習を積み上げる **2 たくましい心身を育てる** **3 正しい道義心を伸ばす** **4 豊かな心情を培う** **～考える・鍛える・慈しむ～**	ふるさとに愛着と誇りをもち、知・徳・体が調和し、社会的に自立した人間 ～「あいさつ」「清掃」「合唱」を中核として～

今年度の重点目標	
1	生徒が安心して生活し、「楽しい」と思える学校づくり
2	夢や目標に向かって努力できる生徒の育成
3	地域との連携＝開かれた学校

総合評価

しおだっ子応援団や学生ボランティアなど、多くの地域の方々から協力を得て、探究的な学習の展開や文化祭の成功など、生徒が前向きに学校生活を送ることができた。今後は学年末を見据え、「あいさつ」「清掃」「合唱」のさらなる向上を図るとともに、基礎的な学習スキルの定着や授業時間の確保に努めていく。また、授業実践や生活指導等について教員間での情報共有を密にし、生徒が安心して生活できる学校づくりを推進していきたい。

成果と課題	A	B	C	D	改善策・向上策
●多くの生徒が楽しく登校し、行事等にも充実感をもって取り組んでいる。 ●家庭学習の定着や部活動地域展開への不安解消に課題がある。 ●学校からのお便りやホームページによる情報発信が評価されている。		○			●生徒の安心感につながるよう、あたたかい指導体制を今後も整えていく。 ●授業と絡めながら基本的な学習の仕方を身につけさせ、意欲を高めていく。 ●今後も継続して学校の教育活動や生徒の様子を発信し、周知を図っていく。

領域	対象	評価項目	評価の観点	成果と課題	A	B	C	D	改善策・向上策
学校教育	学習指導	協働的に学び、自己の考えを深めることができる生徒	「学習問題」「学習課題」が提示され、ねらいをもった授業展開がなされているか	●多くの授業で全ての生徒が「分かる・できる」授業を目指し、多くの教科で課題提示や振り返りの時間設定、対話的な学び合いが位置づけられてきている。 ●授業の終末での「振り返り」の時間の設定が定着してきている。学びの広がりや深まりにつなげていきたい。 ●授業時間を十分に確保し、生徒が授業に集中できる環境を整えながら、「読む・書く・聴く」など学習の基本スキルの定着度を高めていきたい。		○			●授業のユニバーサルデザイン化や対話的・協働的な学びについて教師全員でお互いの授業を見合ったり意見交換をしたりして実践や情報を共有し、日々の学習指導につなげていく。 ●「振り返り」をより効果的なものにするため、「学習問題」「学習課題」の提示を継続し、振り返りの観点を明確にしていく。 ●各教科で「ノートのとり方」や「聴き方・まとめ方」等の学習の基本スキルを身につけるための学習方法を提示しながら、学習に取り組むことができるようにしていく。
			個で学ぶ時間に加え、対話的・協働的に学び合う時間が設定されているか			○			
			授業の終末では、自己の学びを自分の言葉で表現する「振り返り」の時間が設定されているか			○			
			読む・書く・聴くなど、学習の基本的なスキルが身につく授業になっているか			○			
		夢や目標に向かって、自ら計画、実施、改善できる家庭学習	期限を定めた課題の提示やテスト前の自主学習期間を通じて主体的に家庭学習に取り組める環境がつくれているか			○			
	生徒指導	適切な生徒理解	各種アンケートや教育相談日を活用し、個々の良さを認めながら生徒一人一人との対話が行われているか	●月末アンケートの記述だけでなく、日々の小さな変化にもアンテナを高く張り、生徒との対話を重ねていく。 ●中間教室・サテライト教室の活用やタブレット端末等を利用して、生徒の状況に応じた多様な学びの支援に努めている。		○			●個々の生徒の状況を適切に理解し、個に応じた寄り添った支援を今後も大切にして、継続していく。また、担任等、特定の教員のみで抱え込まず、学年・コーディネーターを中心としたチーム体制で組織的に支える仕組みを整える。
		生徒に寄り添った支援	個々の生徒に寄り添いながら、中間教室やサテライト教室、タブレット端末等も利用し、多様な学びを支援しているか			○			
	生活指導	友や地域とつながる挨拶	生徒が自ら友や地域の方々に進んであいさつできるような支援ができているか	●生徒会活動を中心に、文化祭前の挨拶運動など意識化を図る取り組みを行っているが、自ら進んで友や地域の方々と挨拶を交わす姿の日常的な定着には課題が残り、習慣化に至っていない。 ●生徒が主体的に合唱活動に取り組めるよう、音楽での授業をもとに、各学年でも音楽集会等の場を設定したことが、文化祭の感動と成功につながった。		○			●文化祭前に行った「挨拶運動」のような活動を一過性で終わらせず、活動終了後も日常生活の中で意識を高めて習慣化できるよう、生徒会を中心としながら教員も積極的に関わり、日常的な声かけを継続していく。 ●文化祭後も学校に歌声が響くよう、音楽交流会等を設定し、歌声を響き合わせる活動を継続し、豊かな心情を育成する。
		自らを磨く無言清掃	生徒が自ら清掃場所を見つけ、時間いっぱい無言で行えるような支援ができているか			○			
	教育課程	心を響かせる歌声	生徒が主体的に合唱活動に取り組めるような支援ができているか			○			
		個と集団の成長を図る生徒会活動	生徒の願いを取り入れ、生徒が主体的に企画・運営できる生徒会活動になっているか			○			
学校運営	地域との連携	しおだっ子応援団や学生ボランティアとの連携	環境整備や学習支援、地域交流など積極的なボランティアの協力が得られているか	●しおだっ子応援団や学生ボランティアなど、地域の方々と連携をとりながら教育活動の充実が図られている。 ●1年「塩田めぐり」、2年「職場体験学習」、3年「地域貢献活動」と3年間の見通しをもち、地域の協力を得ながら探究的な学習に主体的に取り組んでいる。		○			●ボランティアの支援の様子や生徒の成長を広く発信し、学校と地域が一体となった教育活動を推進していく。 ●「総合的な学習の時間」の発表を文化祭でも位置づけながら、生徒自身がふるさとへの愛着と誇りを深められる活動へと発展させていく。
		「地域」を中心に据えた探究的な総合的な学習の時間	地域の協力を得ながら探究的な活動を行っているか			○			
		開かれた学校づくり	学校だよりや学年だより、ホームページ等で学校からの情報が発信できているか			○			

○　評価基準　A･･･達成できた　B･･･おおむね達成できた　C･･･やや達成できなかった　D･･･達成できなかった